

主体的に学び、ともに磨き合い、力を高めていく 准園っ子の育成

大分県九重町立准園小学校

全校児童数	21名（男子8名 女子13名）		
全クラス数	4	教職員数	11名
体育専科教員訪問学校数			5校
訪問校	（毎週）東飯田小		
	（隔週）野上小・野矢小・南山田小・飯田小		
体育専科教員名		高瀬 健	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆ 登下校は保護者の送迎が多いため、徒歩通学の児童が少なく50m走・シャトルランの値が低い。
- ◆ 握力が平均値を下回る児童が多くみられる
- ◆ 柔軟性が弱い児童が多い。

2 取組の計画

- ① 年間を通して外遊びの奨励をする。
- ② 睡眠時間確保のため生活習慣（メディアルール）の確立に取り組む。
- ③ 体育ファイルを作成し、過去の記録と比べる機会を増やす。

Do：実践内容

1 体育ファイルの活用

- (1) 前時を思い出し、本時に臨む。
 - ・授業が始まる前に、前時に書いたファイルを読み返す。
 - ・本時に挑戦したいことを思い浮かべる。
- (2) 友だちのよいところやまねしたところを記入する。
 - ・自分が、頑張ったところや気をつけて取り組んだところを記入する。
 - ・友だちのよいところをみつける。
- (3) 自分や、友だちの動きを言語化する。
 - ・できるだけ、言葉で動きを表現する。
 - ・その時の気持ちや、次につながる考えを記入する。

2 睡眠時間の確保（メディアルールの推奨）

- (1) 保健集会や保健だよりでの周知
 - ・睡眠の大切さを伝えていく。
- (2) 保護者会において、メディアルールの取り決めに促す。
 - ・児童のみならず、保護者に向けても睡眠時間の確保をお願いし、その一つの方法として、ルールの取り決めに勧める。

3 九重町体育実技講習会

- (1) 公開授業
 - 低学年(1・2・3年)跳び箱運動(遊び) (器械運動)
- (2) 実技教習
 - ①運動の場を作る時の注意点。

- ②複数学年での授業の工夫
- ③自分の動きを確認する
- ④児童同士で話し合う機会のつくり方
- ⑤教具の紹介

(3) 協議

- ①児童が自ら目標を持てるようにするには。
- ②日常の体育授業で気を付けておくこと。

●工夫したこと

○ 体育ファイル

○記録をファイルしていく

- ①個人に1ファイル。6年間使用する。
- ②競技の記録や、学習カードをファイルする。
- ③前年度の自分の記録や、前時の授業を振り返る。
- ④今後の目標をたてるもとにする。

○ 授業の流れ

○児童が主体的に行動できる流れを作る。

- ①毎授業の始まりをサーキット→体操と決める。
- ②重要なこと以外は、児童からの発言を待つ。
- ③友だちを見る機会を増やすとともに見てもらう機会を増やす。

○ ICT 機器の活用

- ①お手本など全員で共有するものは投影する。
- ②遅延カメラを利用し自分の姿を確認する。
- ③VTRは友だちと見るようにし、お互いに話し合う機会を増やす。

Check：取組の成果

- ①授業が始まるまでの取り組みがルーティン化でき、スムーズに授業に入れた。
- ②学習カードの記入で、自分の姿を振り返ることができていた。また、次回にしたいことを考えることができた。

Action：今後の課題

学習カードに記入していく際、大切なことは何かを明確に示し、記入時間の短縮をはかる。

他の授業で学んだことを体育の授業で、またその逆もしかりで、体育の授業を発表の場とし、児童が学びの実感を持てる工夫があるとよい。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- 自分の気持ちや考えを言葉にしていこうとする。
- 友だちのよいところをさがしていく。
- やってみようという気持ちを育くむ。

<学習カードの記入>



お互いを見合い、ポイントチェックを相手のシートに記入した。途中で、他のペアの学習カードを見合う時間をもつことで、新たな視点を見出すことができた。

<ICT 機器の活用>



遅延カメラのアプリを利用し、お互いの動きを確認し合い、動きのことだけでなく、ポイントチェックをしていく。他学年とのペアで、チャックの仕方や、記入の仕方を工夫し合う。

<授業の始まり(流れを作る)>



サーキットトレーニングなど、授業の始まりに行うものを決め、児童が自分たちで進んで取り組めるものにする。また、本校は低学年の合同体育のため、3年生のリーダーシップを養うことも目的としている。

児童が互いに、授業前の休み時間から、サーキットの準備をし、3年生が主導となり1年生からスタートする。1,2年生は先にサーキットを終了するため、片づけをはじめ、その後体育ファイルに目を通し前時を思い出し、本時の目的を考える。

終えた児童から整列し、準備体操までを自分たちで行う。これまでが、本校低学年の授業の始まりである。